

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	地学第二		
英文授業科目名	Atomospher Science		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	田口 雄作		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yusak.taguchi@aist.go.jp	http://www.gsj.jp/HomePageJP.html

【主題および達成目標】
教職課程の教科「理科」に関する専門科目として、地学に関する分野での必要最低限の知識を修得することを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
高等学校において「地学」を選択・履修しなかった者は、高等学校で履修する程度の参考書を、あらかじめ自習しておくことが必要である。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
西村祐二郎ほか；「基礎地球科学」朝倉書店。参考書としてアーサー・ホームズ原著 上田・貝塚・兼平・小池・河野訳「一般地質学1、2、3」東京大学出版会を推奨する。

【授業内容とその進め方】
第1～3回 地球の概観。地殻の構成（地殻、鉱物、岩石） 第4～6回 気圏と水圏（風化と浸食、運搬と堆積、地形） 第7～9回 地殻の変動（火山作用、地震、変動帯と安定大陸）、 地殻の進化（大陸移動説、古地磁気、プレートテクトニクス） 第10～12回 地球の歴史（地質時代と絶対年代、生物の起源と進化、日本列島の

電気通信大学 平成17年度シラバス

地史)、資源と環境(資源、自然災害、環境問題)

以上のように設定するが、その都度発生する興味深い地学現象を探り上げ、解説を行うこともある。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験において、その理解度を重視して評価を行う。出席も重視し、評価の割合は、試験50%、出席50%とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

とにかく楽しくやりたいと思います。

【その他】

DVD等の映像を多用し、講義題目を少しでも理解が可能ないように努めるつもりである。